

日本二普協ニュース

No.116
平成28年1月号



一般社団法人
日本二輪車普及安全協会

二輪と社会の調和を求めて 平成27年度の活動報告



4月：グッドライダーミーティング東京（府中）



5月：交通安全。アクション2015



6月：北海道 サマーツーリングinルズツ



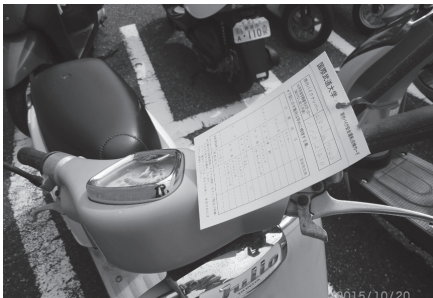
7月：中部 スマイルツーリングin加賀温泉



8月：バイクの日スマイル・オン2015in秋葉原



9月：東北 夢ツーリングin安比



10月：千葉県 国際武道大学バイク通学生点検



11月：茨城県 二輪品質評価者講習会



12月：埼玉県 秩父農工科学高校二輪車講習

◆目次◆

□年頭の辞：日本二普協 会長 伊藤 孝紳……………	2
警察庁 交通局長 鈴木 基久……………	3
□活動報告：安全本部 安全普及部……………	4
安全本部 G防推進部……………	9
★G防登録推進キャンペーンのご案内……………	12
□活動報告：流通環境本部 流通業務推進部……………	13
流通環境本部 モーターサイクルスポーツ推進部……………	17
★2016年MFJ全日本選手権・主要競技カレンダー……………	19

◆次◆

□都府県地区支所会長・事務局長会議を開催……………	20
□平成27年度 日本二普協 会長表彰……………	22
★警察庁 交通局長からの挨拶状……………	27
★グリーンプリンティング環境準大賞を受賞……………	28
□統計DATA：二輪車乗車中交通事故死者数……………	30
G防登録状況……………	31
二輪車盗難認知及び被害回復状況……………	32

年頭の辞

二輪車ユーザーの輪が広がり、安全・安心で、 より快適な二輪車環境の構築を目指し活動を推進

会長 伊東孝紳



明けましておめでとうございます。皆様、よき年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から当協会の諸活動に多大のご理解とご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

当協会は平成25年10月に組織統合し2年余が過ぎましたが、皆様のご支援、ご協力のお蔭を持ちまして、組織運営、事業活動は滞りもなく、概ね順調に推進することができており、重ねて感謝申し上げます。

さて、新年に当り、当協会が取り組みます事業に関し、4点ばかり簡単に申し述べたいと思います。

第一は、「安全運転普及活動の推進」についてです。

昨年11月末現在の全国の二輪車による交通事故死者数は612人で、前年同期より33人、5.1%減少となっています。その内、原動機付自転車の死者数は201人で半数は65歳以上の高齢者が占めており、自動二輪車の死者数は411人で近年中高年の構成率が高くなっています。

悲惨な交通事故を抑止して、安全で安心な二輪車利用の普及を図るため、グッドライダーミーティングをはじめ、高齢者、女性及び高校生等に対する安全運転講習を計画的に推進してまいります。

第二は、「防犯活動の推進」についてです。

グッドライダー・防犯登録は、警察のご指導を得て二輪車の防犯活動として重要な役割を果たしております。このところ、やや低調傾向がみられることから、昨年3月から6月までの4か月間、グッドライダー・防犯登録の推進キャンペーンを実施しましたが、依然としてその傾向が続いております。

そこで、当協会としては、本年も推進キャンペーンを実施し、グッドライダー・防犯登録の一層の普及と登録件数の向上を図り、ユーザーの大切な二輪車の盗難防止と、安全で安心な二輪車の利用をサポートしてまいります。

第三は、「利用環境の改善」及び「流通環境の整備推進」についてです。

利用環境の改善に向けて、関係団体と連携を強化し、駐車場整備やユーザーに対する駐車場利用啓発等を引き続き行ってまいります。また、マナーアップ施策としてライダーの安全やマナーに対する意識の向上を図り、社会における二輪車のイメージアップのため、「グッドマナー JAPAN RIDERS 宣言」活動を積極的に推進してまいります。

流通環境の整備推進については、関係団体と連携して自動車公正取引協議会への入会促進や二輪車品質評価者講習会の開催などを行い「二輪車公正競争規約」の一層の普及を図ってまいります。

第四は、「楽しさを訴求するイベントの開催等」と「モーターサイクルスポーツの普及促進」についてです。

二輪車の楽しさを広く訴求するため、7月から9月までのバイク月間中をはじめとする各種イベントを積極的に開催または後援してまいります。

また、一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会と連携し、モーターサイクルスポーツの普及促進を図ってまいります。

以上、当協会が取り組みます主な事業とその方針をご紹介いたしました。私共は今後とも二輪車ユーザーの利用の輪が広がり、安全、安心、より快適な二輪車環境の構築を目指し、活動を推進してまいります。

皆様方のお一層のご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

年頭の辞

関係機関・団体との緊密な連携による官民 一体となった継続的な取組が不可欠



警察庁交通局長 鈴木基久

新年おめでとうございます。

皆様方には、平素から交通警察行政各般にわたりまして、格別の御理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、平成27年中の交通事故情勢につきましては、発生件数及び負傷者数は11年連続の減少となりましたが、死者数は15年ぶりの増加となりました。

政府が定めた第9次交通安全基本計画において掲げた「平成27年までに24時間死者数を3,000人以下とする」という目標についても、残念ながら達成できませんでした。

近年は、交通事故における致死率の高い高齢者の人口の増加などを背景として、交通事故死者が減りにくい状況が続いており、交通事故死者数の半数以上を65歳以上の高齢者が占めているほか、飲酒運転等の悪質・危険な違反による悲惨な交通事故が後を絶たないなど、多くの尊い命が犠牲となっている状況に変わりはありません。

また、本年は、第10次交通安全基本計画がスタートする年であり、政府が目標とする「世界一安全な道路交通の実現」に向け、なお一層の取組が求められております。

警察としては、交通事故死者数が増加に転じたことを厳しく受け止め、高齢者や歩行者の安全確保を図るための交通安全教育や街頭活動、悪質・危険な違反の取締り、計画的な交通安全施設の整備などの総合的な交通事故防止対策を一層強力に推進し、交通事故による犠牲者の減少に向け、取り組んでまいる所存です。

もとより、交通事故防止はひとり警察のみで達成できるものではなく、関係機関・団体との緊密な連携による官民一体となった継続的な取組が不可欠であることは申すまでもありません。

貴協会におかれましては、「グッドライダーミーティング」、「二輪車安全運転講習」を始め、二輪車の安全運転普及活動に積極的に取り組んでいただいておりますが、今後とも、こうした活動を推進していただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

人事異動のお知らせ

平成28年1月14日付で

鈴木基久氏のご勇退され

井上剛志氏のご就任されました。

活動報告

安全本部 安全普及部

●グッドライダーミーティング（Gミーティング）の開催

平成27年度のGミーティングは、全国で115回の開催を計画し展開中です。

女性が参加しやすいよう女性対象の講習内容で受講者を女性に限定して開催する「レディースミーティング」は、千葉、東京、富山、大阪、兵庫、愛媛で各1回、計6回開催しました。

Gミーティング県別開催計画・実績

平成27年12月末現在

二普協	開催計画	動員目標	開催中止	動員実績	内女性	初参加	指導員数	警察数	内白ハイ	二普協数	安協数	二普協	開催計画	動員目標	開催中止	動員実績	内女性	初参加	指導員数	警察数	内白ハイ	二普協数	安協数	
北海道	6	300	6	294	48	64	60	0	0	9	12	滋賀	2	60	2	71	11	17	10	7	5	6	2	
青森	1	35	1	49	7	22	18	2	2	4	2	京都	2	60	2	61	16	16	12	6	4	6	4	
岩手	3	90	3	110	16	39	40	0	0	3	4	大阪	9	405	8	345	79	94	65	23	16	19	18	
宮城	4	160	4	166	54	50	45	17	16	4	10	兵庫	3	100	3	83	26	31	18	15	13	11	7	
秋田	1	25	1	13	3	10	2	5	5	2	1	奈良	3	80	3	100	12	50	14	11	4	9	8	
山形	1	30	1	22	6	9	8	1	2	3	2	和歌山	2	60	2	73	17	17	12	2	0	5	6	
福島	1	35	1	23	4	13	8	1	2	4	1	鳥取	2	60	2	55	13	27	20	8	6	4	9	
東京	5	230	5	222	54	85	72	18	12	14	0	島根	1	50	1	39	7	30	4	0	0	1	2	
茨城	2	90	2	76	18	28	23	11	3	4	2	岡山	1	30	2	78	14	42	23	3	2	2	10	
栃木	2	100	2	101	10	48	27	11	6	5	4	広島	3	90	3	79	17	55	20	9	6	8	7	
群馬	2	110	2	117	14	45	26	16	12	5	21	山口	1	30	1	33	6	16	8	8	4	4	3	
埼玉	4	240	4	263	41	66	74	43	14	9	5	徳島	1	30	1	18	2	7	2	2	2	7	0	
千葉	6	330	5	290	71	89	109	28	17	10	19	香川	1	30	1	29	3	7	8	4	4	3	0	
神奈川	5	180	4	204	44	60	77	9	6	4	4	愛媛	2	70	2	57	32	27	11	10	7	11	1	
新潟	2	120	2	104	15	23	27	5	5	4	0	高知	1	40	1	42	9	21	8	8	6	7	1	
山梨	4	80	3	75	11	22	30	4	4	7	0	福岡	1	30	1	24	9	11	7	6	2	2	0	
長野	2	65	2	64	4	23	22	8	3	4	10	佐賀	1	15	1	10	1	0	2	2	2	1	0	
静岡	2	100	2	85	6	35	18	16	14	6	0	長崎	2	45	2	33	3	15	15	9	9	6	10	
富山	6	220	6	128	9	23	57	6	0	10	4	熊本	2	60	2	18	2	6	6	0	0	4	2	
石川	1	20	1	21	3	5	7	0	0	1	2	大分	6	120	6	130	19	35	44	7	8	11	2	
福井	1	35	1	33	4	14	7	4	3	2	2	宮崎	1	20	1	16	1	9	6	4	3	2	1	
岐阜	1	50	1	49	7	21	9	0	0	3	1	鹿児島	2	40	2	29	10	29	9	3	1	7	0	
愛知	2	60	2	66	8	37	14	6	6	4	0	沖縄	1	20	1	38	3	21	9	0	0	1	5	
三重	1	50	1	40	6	27	9	9	8	3	2	合計	115	4,300	112	4,076	775	1,441	1,127	367	244	261	206	
レディース：千葉、東京、富山、大阪、兵庫 愛媛各1回 計6回													計画進捗率		97%	95%								
高齢者：大阪1回、奈良1回、鹿児島1回													前年進捗率		102%	99%								

Gミーティング県別開催実績累計

平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	累計
回数 37	回数 56	回数 73	回数 86	回数 96	回数 94	回数 103	回数 99	回数 110	回数 112	回数 866
動員 1,330	動員 2,215	動員 3,071	動員 3,696	動員 3,959	動員 3,313	動員 3,808	動員 3,700	動員 4,103	動員 4,076	動員 33,271
15県	26県	29県	37県	39県	41県	46県	44県	47県	47県	47県

高齢者Gミーティング



鹿児島県



奈良県



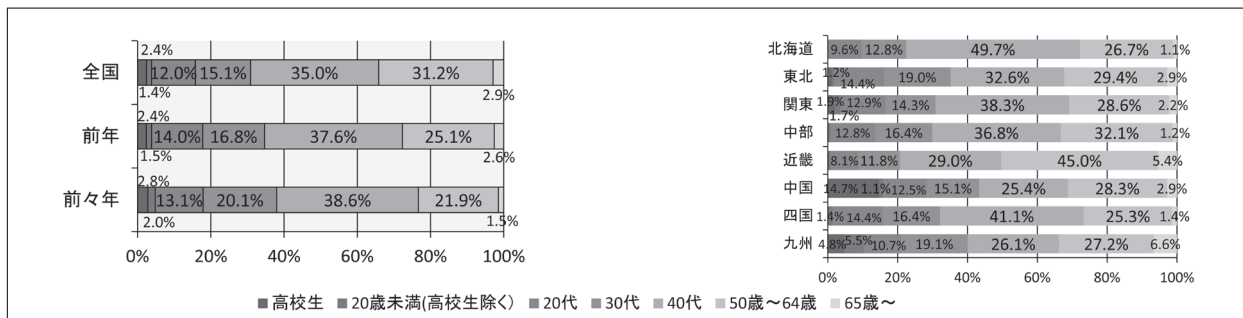
大阪府

●受講者からのアンケート結果

講習内容だけでなく、開催案内方法や認知度向上など活動全体を改善するため、毎回受講者にアンケートを回答していただいています。

本年度は111会場で3,653人に回答していただきました。

受講者の年齢

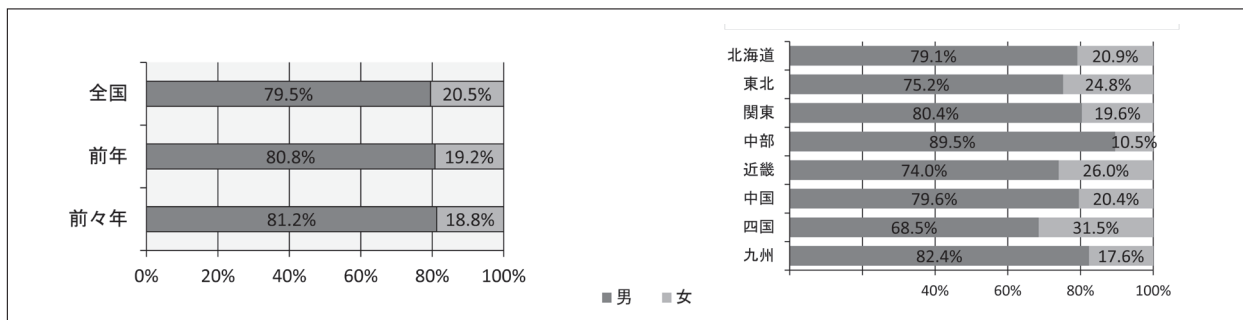


例年通り、二輪需要の成熟期に育った40代、50代が多く、特に50代の伸長が目立つ。

事故の増加傾向にあるリターンライダーを含む40代、50代は、指導対象として十分に対応。

一方、事故の多い若者(20歳未満)、高齢者(65歳以上)の動員に苦慮しているが、高齢者は上昇傾向。

受講者の性別



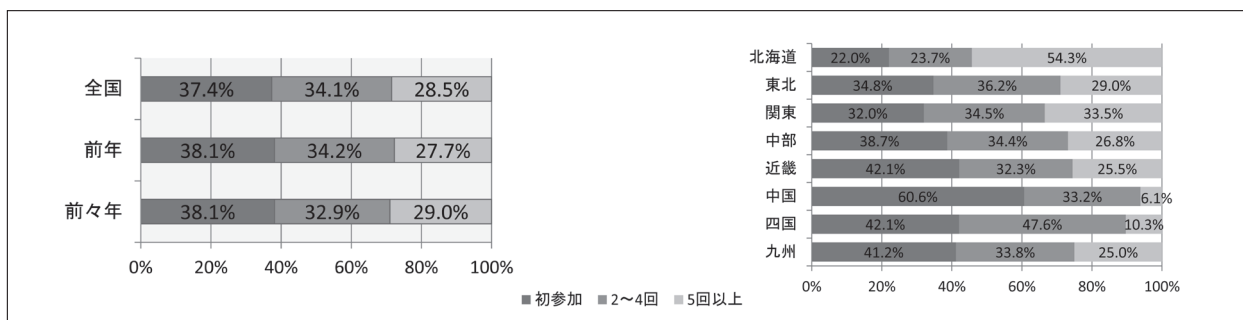
男性79.5%、女性20.5%と、女性エントリーを徐々に増やし2割に到達。

女性が参加しやすいレディス開催 千葉、東京、大阪、富山、新たに 愛媛、兵庫が実施。

四国、近畿、東北の順で、参加比率は上昇している。

女性指導員の育成、女性白バイ隊員への協力要請等、女性主導型の運営を促進。

受講者の参加回数



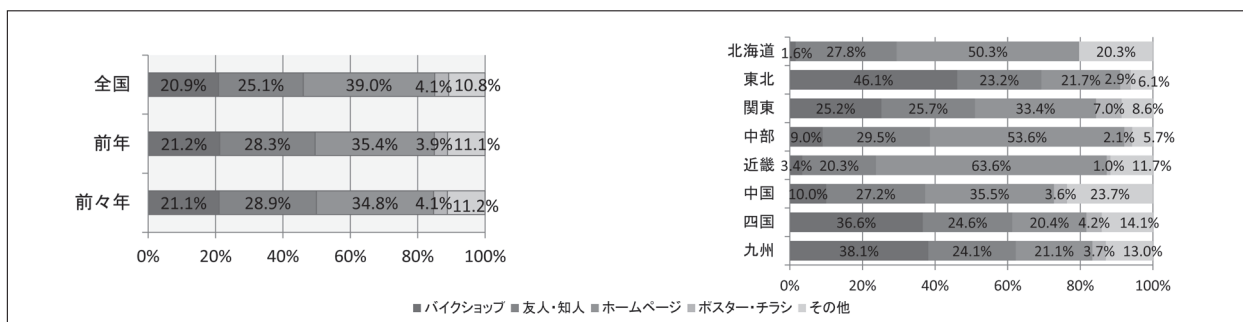
初回参加が4割弱と最多であり、目指す方向性に沿って動員確保。

次に2～4回が多く、4回以下で7割を超えていることから指導対象層への誘引を維持。

西日本エリアは初回参加の誘引率が高い。特に、中国は6割超の動員を図る。

北海道(札幌)は、初回参加枠を設けるなどしているが、例年通り、リピーターが過半数を占めている。

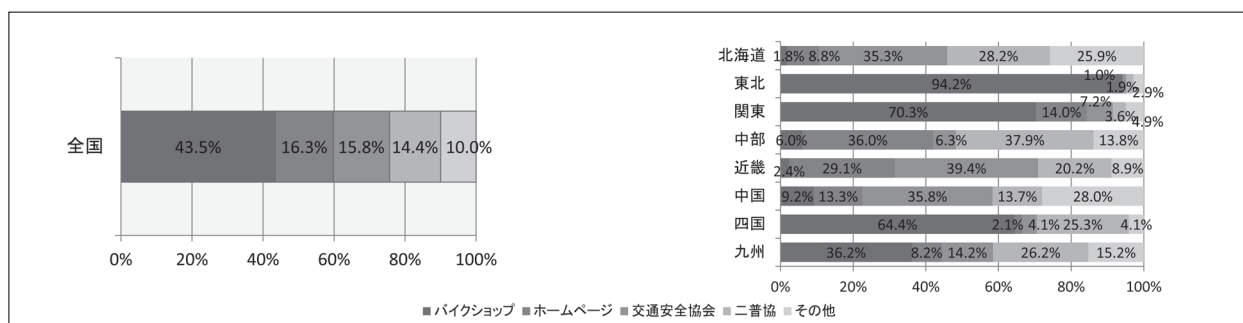
グッドライダーミーティングは何により知りましたか



認知経路は固定的で、HPを通じての認知が最多であり、次いで友人・知人、販売店は3番目の定位置。東北は、受付窓口を販売店に集約しており、顧客管理、アフターフォローに繋げている。販売店経由の低い北海道、近畿、中部はHP依存度が高く過半数を占め、中国は他（高校）で押下げる。

店頭個別安全指導の観点やG防犯登録加入者の特典として、販売店からの告知、動員強化をお願い致します!!

グッドライダーミーティングの申し込みはどちらからされましたか



販売店が43.5%あり、HP、友人・知人、ポスター・チラシ等の幅広い認知経路からも申し込みに至っており、認知度、広報効果は上がっている。東北、関東、四国の順に、販売店を窓口として、二輪車ユーザーとのコミュニケーションを強化している。一方、北海道、近畿、中部、中国は販売店の介在が低い。

今後の方針

- ・ 47都道府県継続開催、拡大（中止時の振替日を設定）
- ・ 交通事故死傷者の割合が高い、初心運転者、年齢層（若者・高齢者、リターンライダー等）の参加を促進。
- ・ 販売店による動員の強化
- ・ 高齢者（高年齢層）、レディス、高校生等を対象とした層別開催。
- ・ Gミーティング指導員マニュアルに基づいた指導方法、運営方法の標準化。そのための各県指導員のレベルアップ研修会の実施。
- ・ 受講者アンケート調査・分析を継続し、内容改善により一層の充実を図る。
- ・ 講習等費用の一部を受益者負担とすることの検討。

引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

●高校生に対する安全運転講習計画・実績

平成27年12月末現在

県	計画		受講生数		指導員数	実績		受講生数		指導員数	高校生リーフレット配布数	備考(主催等)
	回数	高校数	実技	座学		回数	高校数	実技	座学			
1 岩手	3	3	64		7	3	3	59		4	○	警察・地域二普協
2 宮城	4	4	40	63	8	2	2	20	17	4	○	日本二普協
3 山形	2	2	6		2	1	1	2		2	○	警察・安協・日本二普協
4 東京	1	1		300	2	1	1		280	2		小平警察署主催・日本二普協協力
5 栃木	30	39	889	889	97	28	36	719	719	90	○	県教委・警察・安協(二推)・日本二普協
6 群馬	1	1	20	20	15	2	2	25		26		日本二普協・二推
7 茨城	1	1	6	6	3	1	1	30		2	○	交通安全協会(二推)
8 埼玉	5	7	12	3,389	11	5	10	43	1,815	17	○	教育講座推進事務局・安協・日本二普協
9 千葉	1	1	36		7	1	1	29		7	○	高校主催・警察・日本二普協協力
10 神奈川	4	4	37	200	11	1	1	16		2		警察署・地域二普協
11 山梨	12	12	675	230	56	9	9	338	1,042	43	○	県教委・警察・安協(二推)・日本二普協
12 静岡	21	21	323	815		20	20	230	781			教育委員会・自動車教習所
13 愛知	3	3	14	14		1	1	1	1	1		学校・自動車教習所
14 奈良	1	1	25	25	5	2	2	62	43	15	○	学校主催・安協・日本二普協・五條警察
15 島根	1	1	25		3	1	1	39		4		Gミーティング
16 広島	2	2	16	10	3	2	2	7	7	2		日本二普協・警察
17 山口	4	4	22	81	7	4	4	27	87	7		安協二推・教委等・日本二普協
18 愛媛	8	11	179	311	18	8	8	150	230	13	○	県教委・警察・安協(二推)・日本二普協
19 高知	18	18	686	3,107	58	17	17	581	2,764	57	○	県教委・警察・安協(二推)・日本二普協
20 福岡	16	16	551	103	51	12	12	381	3	57	○	教委・警察・安協・日本二普協
21 長崎	8	8	145	145	25	10	13	152	152	42	○	学校主催・警察・自動車教習所
22 大分	21	27	711	711	67	21	26	671	671	42		警察・自動車教習所
23 熊本	7	7	275		15	9	9	293	40	27	○	地区二普協・安協
24 宮崎	2	2	35		4	2	2		37	4		地区二普協
25 鹿児島	38	42	2,343	1,077	128	41	45	2,067	1,173	146	○	県教委・警察・安協(二推)・日本二普協
合計	214	238	7,135	11,496	603	204	229	5,942	9,862	616		
	計画≒前年実績				計画比	95%	96%	83%	86%	102%		

*日本二普協の主催、共催、協力、協賛等の実績です。

高校生に対する安全運転講習の実績は、計画通りの進捗状況ではないものの、受講して頂いた生徒や教職員の方々には大変良い反響をいただきました。引き続き実施してまいります。

通学許可校の生徒指導担当者研修会を実施しました。

5月13日 宮城県19校の担当者19名、6月22日 茨城県30校の担当者32名

10月23日 奈良県16校の担当者17名、

こちらも受講して頂いた生徒指導担当者の方々には大変良い反響をいただきました。

高校生講習開催のための県リーダー指導員研修会を実施しました。

5月14日 宮城県11名、6月15日 鹿児島県17名、6月28日 愛媛県13名、7月5日 高知県16名、7月9日 長崎県12名、8月20日 山梨県19名、11月12日 奈良県18名、11月17日 広島県9名、岡山県4名、山口県2名、島根県2名、鳥取県1名(福岡県16名、熊本県12名は平成27年3月に実施済)

これで、15県、152名に実施しました。

また、特別取組みとして「高校生にバイクは不要」宣言撤廃に向け埼玉県への安全講話及び山間部通学許可校実技指導に協力参加しました。

安全講話(座学のみ)

- ・ふじみ野高校 6月10日600名(2回目を平成28年3月16日に予定)
- ・幸手桜高校 7月9日600名
- ・八潮高校 7月14日590名

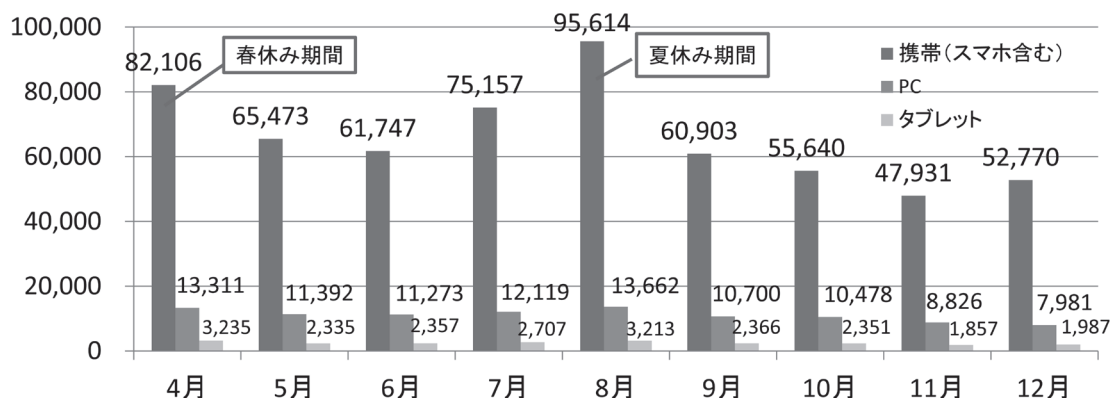
マナーアップ講習会(実技・座学)

- ・秩父エリアの高校 7月26日

5校(小鹿野、熊谷女子、皆野、寄居城北、秩父農工科学の5校)25名
生徒指導型実技講習会

- ・秩父農工科学高校 12月14日18名

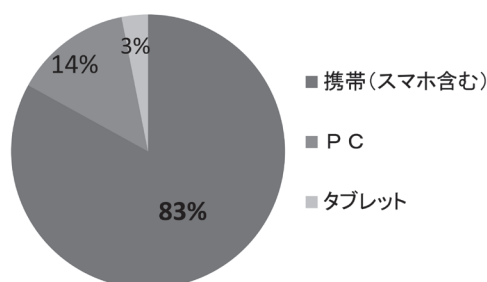
●ゲンチャレWebサイト 訪問者数 4月～12月



▼対象URL <http://www.jmpsa.or.jp/genchalle/>

- 携帯(スマホ含む)からの閲覧者：597,341人
- PCからの閲覧者：99,742人
- タブレットからの閲覧者：22,408人

合計：719,491人



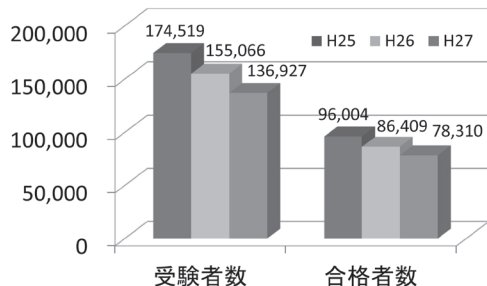
原付免許試験問題「ゲンチャレ」Webサイトは、学校が休みになる春と夏に利用者が急増する傾向にある。利用する端末（機器）はスマートフォンが8割を超えている。

現在掲載の試験問題No.1～4の内No.1, 2をリニューアルし新たにNo.5, 6を作成し平成28年4月に試験問題の入れ替えを予定。

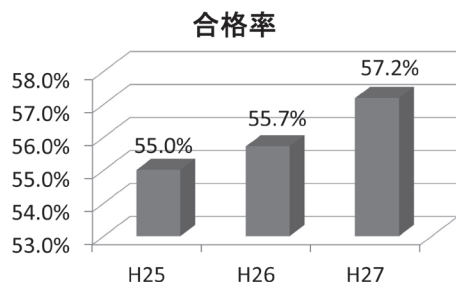
●H27.01-09 原付免許試験 受験者数・合格者数・合格率 数年前比 全体 42県

■H27.01-09 原付免許試験 受験者数・合格者数・合格率 数年前比 全体 42県

警察情報が得られない県
滋賀・大阪・島根・広島・鹿児島 5県



1-9月	受験者数	合格者数	合格率
H25	174,519	96,004	55.0%
H26	155,066	86,409	55.7%
増減	-19,453	-9,595	0.7%
対前年比	88.9%	90.0%	101.3%
H27	136,927	78,310	57.2%
増減	-18,139	-8,099	1.5%
対前年比	88.3%	90.6%	102.6%



＜参考＞	
1-12月	全国原付免許取得者数
H25	151,890
H26	137,012
増減	-14,878
対前年比	90.2%

受験者数、合格者数共に減少傾向にあるが、合格率が向上している。チャレサイトが貢献出来ているか。

活動報告

安全本部 G防推進部

●グッドライダー・防犯（G防）登録の推進状況について

G防登録率の落ち込みやG防稼働店の減少に歯止めがかかっていない状況となっています。

G防登録件数（30万件/年）を確保するため、関連団体や販売店と更なるコミュニケーションを図り、出来ること、考えられることを着実に、地道に、具体的に積み上げていく必要があります。

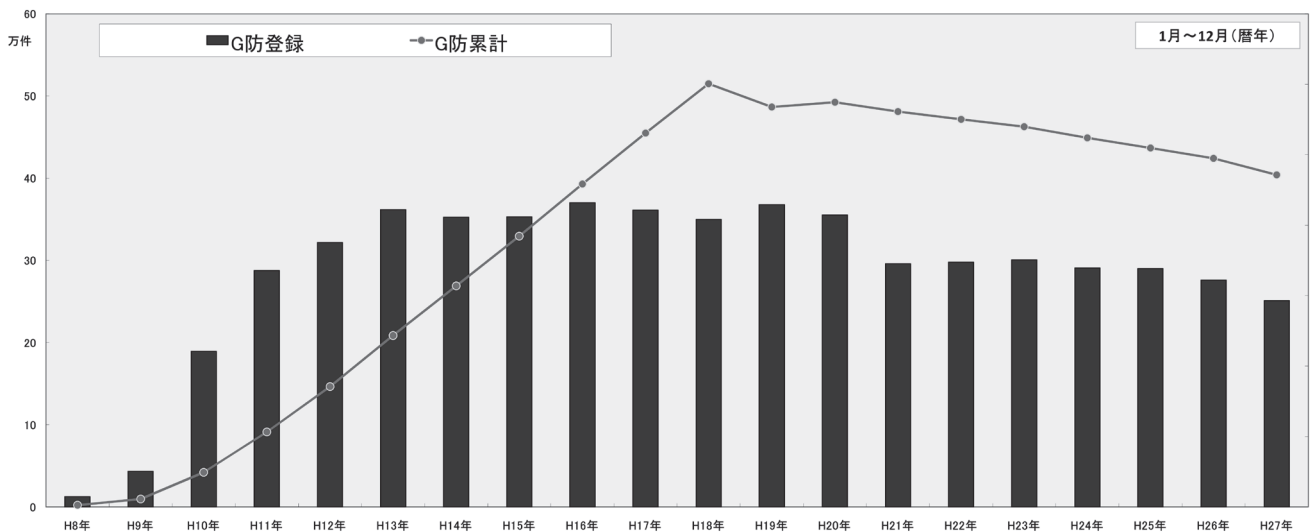
具体的には、

- 情報の共用化と同一歩調による、G防登録推進キャンペーンの継続
- 関係機関・団体、販売店及びユーザーへ認知度向上のための積極的広報
- 関連団体への働き掛けによるG防登録実施店・工場の新規開拓

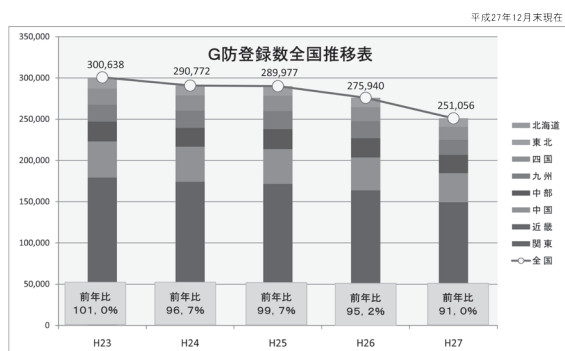
G防犯登録件数の推移（平成8年～平成27年）

全国	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
年別1-12月	H8年	H9年	H10年	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年
G防登録	12,571	43,279	189,379	287,609	321,862	361,811	352,611	353,033	370,322	361,193
G防累計 (7年超削除分)	12,571	55,850	245,229	532,838	854,700	1,216,511	1,569,122	1,922,155	2,292,477	2,653,670

全国	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
年別1-12月	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年
G防登録	349,991	367,855	355,301	295,810	297,751	300,638	290,772	289,977	275,940	251,056
G防累計 (7年超削除分)	3,003,661	2,838,678	2,872,117	2,806,116	2,751,256	2,698,861	2,619,311	2,548,095	2,474,044	2,357,245
		▲ 532,838	▲ 321,862	▲ 361,811	▲ 352,611	▲ 353,033	▲ 370,322	▲ 361,193	▲ 349,991	▲ 367,855

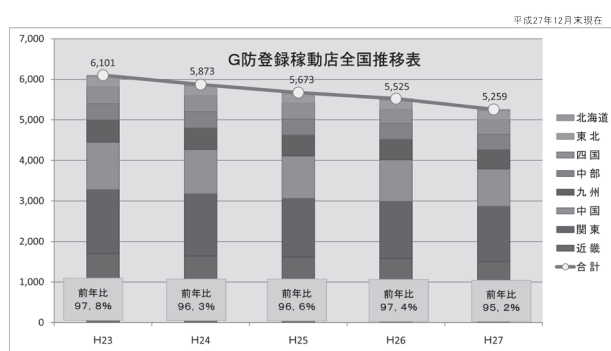


G防登録件数の推移（ブロック別）



・平成23年以降減少傾向をたどっている。

G防稼働店数の推移（ブロック別）



・販売店の縮小、廃業等に伴い、稼働店も年々減少。

G防登録推進キャンペーン実施結果

G防登録件数（30万件/年）を安定保持するための施策の1つとして、平成27年3月1日から6月30日の4か月間「グッドライダー・防犯登録推進キャンペーン」を実施しました。

期間中に登録実績を挙げた販売店へ特典および表彰をおこないました。

- ・登録件数が前年同期より増加した販売店には、その増加割合に応じた枚数のクオカード1,318枚を進呈しました。
- ・登録件数が多かった全国上位販売店54店およびブロックごとに上位販売店47店に会長表彰を実施しました。また、期間中に登録したユーザー1,000名に抽選でクオカード1枚を贈呈しました。

前年同期100%以上の登録件数を目指しましたが、目標達成は出来ずに終了しました。これは前年の3月が、消費税増税前の駆け込み需要があったり、登録件数も例年に比べ多かったという特殊事情が大きく影響しているため4月から6月の3ヶ月で見ると前年より増加となりました。

月別登録件数実績（加入日ベースの実績）

	3月	4月	5月	6月	期間中計
当年	26,459	29,890	21,237	21,408	98,994
前年	39,988	26,106	21,430	21,855	109,379
増減数	▲13,529	3,784	▲193	▲447	▲10,385
増減率	▲33.8%	14.5%	▲0.9%	▲2.0%	▲9.5%

期間中の登録件数は98,994件となりました。

キャンペーンを始めた平成27年3月から4月にかけては登録が伸び、4月は期間中トップの登録件数となりましたが、5月、6月は減少し、平成26年の登録件数に並ぶ登録状況となりました。

平成27年3月の登録件数は26,459件で、前年同月の登録件数39,988件と比較すると▲13,529件ですが、平成26年3月は消費税増税前の駆け込み需要があったり、登録件数も例年に比べ多く、特異な状況下にありますので、平成23年から平成25年の登録件数の平均29,953件と比較すると、▲3,494件、▲11.7%となりました。期間中に登録状況を概観すると次のようになっています。

- ①前年同期は未稼働だったが、稼働となった販売店は612店あり、登録件数の合計は3,197件でした。
- ②前年同期より登録件数が増加した販売店は1,946店（稼働店4,470店の43.5%）、増加した登録件数の合計は11,429件でした。
- ③前年同期比で登録件数が増加した都道府県は、北海道142件、静岡県147件、愛知県79件、岐阜県39件、長崎県11件でした。登録件数が最も多かったのは大阪府14,020件でした。一方、登録減少率が最も高かったのは佐賀県▲26.6%、登録件数が最も減少したのは東京都▲1,181件でした。
- ④稼働店は4,470店で、前年同期比▲205店でした。稼働店数が最も多かったのは近畿の1,275店（大阪府513店）で、稼働店の増加が最も多かったのは愛知県の12店でした。

G防登録推進キャンペーン

販売店 会長表彰の様子



有限会社クルムスSAPORO本店
大村社長



SOX札幌店
井上店長



株式会社オートランド札幌
山崎社長



株式会社弁慶
林社長



有限会社木村輪業
木村社長



YSP各務原東
横尾社長



株式会社イトーKT
伊藤社長



ホンダドリーム小牧
長谷川店長



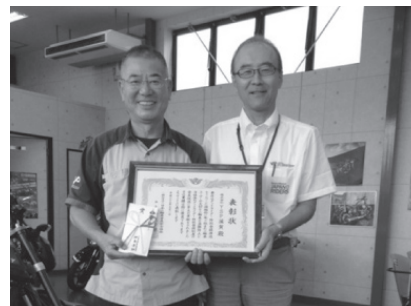
YSP浜松
和田会長



バイクショップ有限会社
伊波社長



株式会社ホンダ販売敦賀
中河専務



YSP滋賀
糟貝社長

グッドライダー・防犯登録推進キャンペーンを今年も実施します

二輪車ユーザーの皆様へ、グッドライダー・防犯登録を認知、ご利用いただき安全で安心できる二輪車ライフを楽しんでいただけるよう、今年もグッドライダー・防犯登録推進キャンペーンを実施いたします。

二輪車販売店の皆様には、このキャンペーンをご理解いただき、期間中販売する全車にグッドライダー・防犯登録を勧めていただきますようお願いいたします。

◆キャンペーン実施期間

平成28年3月1日(火)～6月30日(木)までの4ヵ月間

◆実施要項

グッドライダー・防犯登録取扱い販売店に詳しいご案内をお送りします。

キャンペーン実施期間中にご登録された二輪車ユーザーの皆様から抽選で1,000名にクオカード1,000円券を1枚贈呈いたします。

また、期間中のグッドライダー・防犯登録実績が優良であった取扱い販売店には、その実績に応じてクオカードを所用枚数贈呈、優秀であった販売店を表彰いたします。

二輪車ライダーの皆様へ

はいりましょう /

グッドライダー・防犯登録

登録推進キャンペーン

キャンペーン中に登録すると
抽選で1,000名様にQuOカードを贈呈!!

キャンペーン期間中にグッドライダー・防犯登録にご登録いただいた方には、抽選で1,000名様にQuOカード1,000円券を贈呈します! (当選者の発表は別途に代えさせていただきます。)

期間 2016年3月1日(火) ~ 2016年6月30日(木)

「グッドライダー・防犯登録」とは、自転車の防犯登録と同様、バイクの登録情報を全国の警察が警務活動時の照会データとして活用しバイクの盗難防止および被害の早期回復を図るための制度です。

盗難防止 + 被害回復

「グッドライダー・防犯登録」はこれまでに約568万人のライダーにご登録いただいております。
「グッドライダー・防犯登録」が広がることにより、
バイクの盗難認知件数の減少、被害回復率の上昇につながっております。

累計の防犯登録件数	バイクの盗難認知件数	バイクの盗難被害回復率
<p>累計の防犯登録件数</p>	<p>バイクの盗難認知件数</p>	<p>バイクの盗難被害回復率</p>

愛車を安心・安全に利用するためにグッドライダー・防犯登録に加入しましょう

取扱い団体: 全国ホンダ二輪会 全国ヤマハ会 全国スズキ二輪会 全国カワサキ会

一般社団法人 日本二輪車普及安全協会
http://www.jpmpaa.or.jp/

グッドライダー・防犯登録はライダーの皆様“安全”と“安心”を守るシステムです

安全のために

グッドライダー・防犯登録に加入された方は、バイクの安全運転講習会であるグッドライダーミーティングに参加することができます。グッドライダーミーティングでは、安全運転の基礎知識の講習に始まり、バイクの基本操作や運転技能向上を図ります。免許を持っていても運転に不安がある人や、運転に自信はあるがもっとレベルアップを図りたい方にもピッタリの講習内容となっています。

安心のために

グッドライダー・防犯登録に加入すると、バイクに関するデータが警察の照会センターに登録されます。バイクには登録番号が記載されたステッカーが貼られ、ユーザーにはユーザーカードが発行されます。警察官は、パトロールや検問においてバイクの停止を求め、登録番号があれば、照会センターに照会して、いつでも瞬時に所有者確認が行えるため、盗難車両などの早期発見が可能となります。万が一、ステッカーが剥がされた場合には、車両ナンバー又は、フレーム(車台)番号から、照会することになります。

Q&A グッドライダー・防犯登録についてよくある質問

<p>Q. グッドライダー・防犯登録はいくらで登録できるの?</p> <p>A. 登録は有料で行っております。詳しくは販売店スタッフにお問い合わせください。</p>	<p>Q. 役所で登録者が確認できるのにグッドライダー・防犯登録って必要なの?</p> <p>A. グッドライダー・防犯登録に登録することで、全国の警察官が検問や検問においても所有者を照会することができます。</p>
<p>Q. グッドライダー・防犯登録の有効期間は?</p> <p>A. 登録は10年間有効です。その後は再登録をさせていただきます。</p>	<p>Q. 既にバイクを所有しているんだけど登録できるの?</p> <p>A. できます。お手持のバイクが未登録であればいつでも登録可能です。</p>

グッドライダー・防犯登録 続編

詳しくは販売店スタッフにお問い合わせください

▼日本二輪車普及安全協会/グッドライダー・防犯登録説明ページ
http://www.jpmpaa.or.jp/entry/gbu.html

活動報告

流通環境本部 流通業務推進部

●二輪車駐車場の整備促進

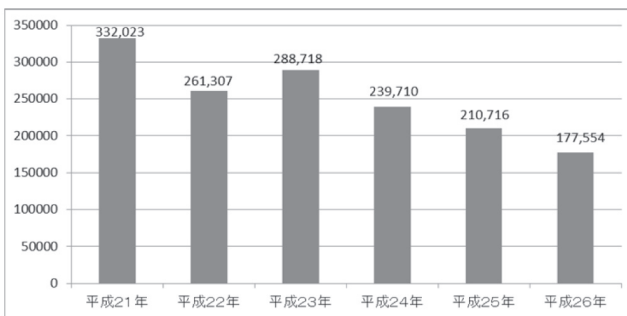
「全国バイク駐車場案内」Webサイトに掲載している駐車場の駐車可能台数は、平成27年度目標92,000台に対し10月末時点で143,256台となりました。



《確認標章取付数》

平成26年の全国の確認標章取付数は、177,554件となり前年の210,716件に対して3,152件減少し 前年比84%となりました。

平成27年1月～6月の確認標章取付数は78,334件で、昨年一年間に対して44%の状況でした。



確認標章取付推移 警察庁調べ

●二輪車通行規制区間

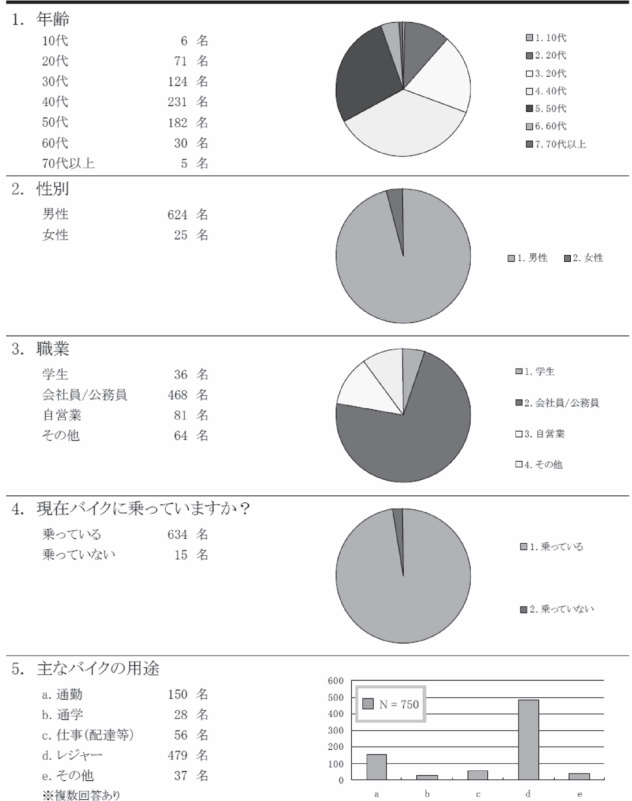
全国で700箇所を超える“二輪車に限り通行が規制されている道路区間”を「二輪車通行規制区間情報」として県別に「路線名」「所在地」「対象車両」「規制時間」をWebサイトにて紹介しています。平成27年3月に全面リニューアルし、閲覧者から規制区間に対するご意見やご要望をいただける機能を備え、リニューアル以降沢山の方からご意見・ご要望をいただいています。

規制理由の多くは、無謀運転による事故や騒音への苦情など、一部のライダーに原因があるものが多いようですが、なかには古くからの規制の為、現在の交通実態からかけ離れている規制内容もあると思われます。

平成27年9月末までにいただきましたご要望649件をとりまとめ、平成27年12月から平成28年1月にかけて、警察庁や管轄警察本部へ情報提供しました。

《全国属性別集計》

全国総回答者数：649名



●公正な二輪車取引の推進

日本二普協主管の公取協会員は11月末現在、新規入会法人数は13社、廃業などの理由により61社が退会、合計3,840社となっています。(前年度3,888社 前年比99%)

●二輪品質評価者(品質査定士)講習会の開催

二輪品質評価者講習会を全国で54回を予定、11月末現在で50回を開催し、774名が受講し、品質評価者在

籍店率は目標83%に対して71.2%となっています。また、未在籍店から212店237名の受講がありました。

●自動車関係功労者・従事者表彰

国土交通省、地方運輸局に対して、自動車関係事業の販売、整備、運輸の各分野において多年精励され、功績顕著である者を選出し、運輸局長ならび支局長の功労者、従事者合計で97名が受賞することができました。(前年64名)



【北海道運輸局長表彰】



【関東運輸局長表彰】



【東京運輸支局長表彰】



【千葉運輸支局長表彰】



【埼玉運輸支局長表彰】



【中部運輸局長表彰】



【静岡運輸支局長表彰】



【三重運輸支局長表彰】



【石川運輸支局長表彰】



【中国運輸局長表彰】



【広島運輸支局長表彰】



【山口運輸支局長表彰】



【四国運輸局長表彰】



【九州運輸局長表彰】



【沖縄県総合事務局陸運事務所長表彰】

平成27年度 自動車関係功労者・従事者表彰 表彰者一覧

功労者	局長表彰	40名
運輸局	店名	氏名
北海道	株式会社オートランド札幌	山崎 隆士
関東	有限会社大島堅輪社	大島 敏男
関東	有限会社大月ヤマハスポーツショップ	大月 信和
関東	株式会社カワサキオートバイ多摩ショップ	金子 武人
関東	上野ホンダ販売	上野 利勝
関東	オートショップ たけうち	竹内 孝夫
関東	有限会社袖ヶ浦ホンダ	小林 宏子
関東	有限会社ピットクルー	渡會 安次
関東	有限会社大芦輪業	大芦 勝
関東	有限会社高橋オート販売	高橋 誠
関東	バイクショップ藤本	藤本 和儀
関東	有限会社ミカサ商会	小野 秀樹
北陸信越	有限会社西部オート	南藤 誠一
北陸信越	駒ヶ根モーターズ	曲淵 武男
中部	バイクショップ有限会社ミズノ	水野 俊樹
中部	有限会社イトモーターズ	伊藤 憲尚
中国	株式会社カヤマ自動車商会	角山 健治
中国	株式会社バイクプラザ ヤマノ	山野洋之助
中国	有限会社ツーアンドフォー	増田 千明
中国	有限会社ツーアンドフォー	増田 奈緒美
中国	ホンダウイング福井	福井 忠士
中国	山本二輪商会	山本 重示
中国	有限会社モトガイズ	恒松 浩之
中国	淞北商会	青砥 好右
四国	尾崎ホンダ販売有限会社	尾崎 悟
四国	株式会社オートショップ松岡	松岡 好一
九州	ホンダショップセイブ	井出 正治
九州	SBS YASUDA	安田 秀一
九州	ユーショップももやま	長末 道德
九州	有限会社ダブルエーピー	宇都宮 博信
九州	二輪ショップ橋口	橋口 義行
九州	モーターショップフルカワ	古川 勝義
九州	トヨナガオートハウス	豊永 誠誉
九州	カワサキスピリッツ タカ	高月 祥禎
九州	有限会社レーシングショップ カツキ	香月 新一
九州	有限会社西大分ホンダ	佐伯 啓造
九州	大門サイクル商会	大門 健二
九州	有限会社瀬戸口近代車商会	瀬戸口 信男
九州	有限会社アローズモーターサイクル	濱田 正壽
九州	大前モーターズ	大前 重光

功労者	支局長表彰	42名	
運輸局	支局	店名	氏名
北海道	北見	株式会社オクヤマ	奥山 俊二
東北	青森	ウイングショップ青豊	佐藤 豊治
東北	岩手	吉川モーターズ	吉川 稔
東北	宮城	高橋輪店	高橋 政治
東北	山形	株式会社エイジユウ プロ	渋谷 栄重
東北	福島	佐々木輪業商会	佐々木 光男
関東	東京	株式会社スズキスポーツ練馬	稲葉 州夫
関東	東京	株式会社須賀	須賀 進
関東	東京	有限会社オートショップヤマナカ	山中 君子
関東	千葉	有限会社リトル・パレー	小谷 茂久
関東	千葉	有限会社新和モーター販売	久保 幸弘
関東	千葉	株式会社モトプラザ	宮内 治朗
関東	神奈川	株式会社杉山ホンダ	杉山 薫
関東	神奈川	有限会社サイクルショップやぎさわ	八木澤 稔
関東	神奈川	有限会社北相モーターサイクル販売	栗原 利一
関東	神奈川	株式会社山儀	山崎 省吾
関東	栃木	有限会社岡モーターズ	岡 康夫
関東	栃木	有限会社ビッグオートサカモト	坂本 博宣
関東	埼玉	株式会社はとや	佐藤 輝義
関東	埼玉	エフワンオート	田邊 治彦
関東	山梨	ホンダウイングPORT	吉田 郁男
関東	茨城	有限会社木村輪業	木村 茂
北陸信越	長野	茅野ホンダ小平	小平 勝彦
北陸信越	新潟	株式会社ホンダウイング高橋	高橋 正則
北陸信越	新潟	SBS長岡東	井口 清治
北陸信越	石川	村上モーターズ	村上 勇
北陸信越	富山	バイクハウスマックス	谷口 勝義
中部	愛知	イサムモーターズ	角岡 勇
中部	愛知	(資)井上サイクル商会	井上 隆史
中部	愛知	ヒラハタ商会	平畑 喜七
中部	静岡	株式会社古橋モーターズ	古橋 弘雄
中部	静岡	宮島ホンダ	宮島 卓之
中部	静岡	有限会社太田川ホンダ	太田川松雄
中部	静岡	有限会社カワサキ沼津販売	相良 隆夫
中部	三重	カワバタ商会	川端 巖雄
中部	三重	バイクショップナカジマ	池田 正憲
中国	広島	株式会社広島オートバイ販売	小笠原 幸
中国	島根	有限会社ホンダウイング斎藤	齋藤 勅
中国	山口	株式会社バイクショップシゲムラ	重村 幸生
沖縄	沖縄	イエローストーン	石垣 信浩
沖縄	沖縄	モトファッション元氣	崎間 保
沖縄	沖縄	ホンダスポーツ池原	池原 武彦

従事者	局長表彰	6名
運輸局	店名	氏名
関東	有限会社ファミリーオートプラザ	小此木 貞子
関東	有限会社川口輪業	君島 利男
北陸信越	滝ホンダ	滝 章人
北陸信越	株式会社モト・ヴィラ・コパヤシ	小林 ちづ子
中部	株式会社オートショップナカムラ	久保田 竜夫
中部	有限会社モーターショップカトウ	加藤 桂子

従事者	支局長表彰	9名	
運輸局	支局	店名	氏名
関東	東京	株式会社ホンダドリーム東京	増田 陽一
関東	東京	YSP成増	原元 直樹
関東	千葉	株式会社ウイング遠山	伊藤 美喜夫
関東	千葉	有限会社秋山商事	田中 国博
関東	神奈川	有限会社エス・エム・エス	小川 洋
関東	栃木	高瀬輪店	高瀬 淳子
中部	愛知	株式会社アトランタ	杉山 晴夫
中部	愛知	株式会社イトーKT	加藤 晴久
中部	静岡	株式会社長谷川ホンダ商会	長谷川 昭一

● JAPAN RIDERS

グッド♥マナー
JAPANRIDERS

より快適なバイクライフの実現、バイク文化の発展、また社会とバイクの共生のためには、ユーザー1人1人の安全・マナーに対する意識向上が不可欠であることを背景に、グッドマナーJAPANRIDERS宣言活動により、ライダー自ら考える事と他人の宣言に触れる事で学びのきっかけを提供しています。

ライダーの運転マナーがアップ、結果として交通事故が減少し、社会の見る目が向上することを目標にして活動しています。



平成26年3月より専用Webサイトの運営を開始、平成27年12月末時点で2万9千件のジャパンライダーズ宣言をいただいています。

SNSを利用した情報発信と拡散を行い、広く一般へアピールしています！「いいね！」お願いします！



facebook

Twitter

その他、全国の都道府県警察へご案内と協力依頼を行い、各地の交通安全イベントでご協力いただきました。

全国の道の駅（1059箇所）、高速道路会社（800箇所）へポスターと協力依頼を行い、各地でポスターの掲出をしていただきました。

● 災害ボランティアバイクネットワーク活動

自治体の行う訓練に参加し社会的有用性の訴求を行いました。



平塚市総合防災訓練 災害VBN関東 神奈川支部
平成27年8月29日(土) 平塚市総合公園「平塚のはらっぱ」



九都県市合同防災訓練 災害VBN関東 埼玉支部
平成27年8月30日(日) 桶川市「城山公園」



九都県市合同防災訓練 災害VBN関東 神奈川支部
平成27年9月6日(日) 横浜市「山下公園」

活動報告

流通環境本部 モーターサイクルスポーツ推進部

●バイク月間

「交通安全」と「バイクの楽しさ」をテーマに、8月19日のバイクの日を中心に、バイク月間の基本施策である、交通安全パレード、ツーリングイベント等を全国で実施、後援、協力を行いました。

ツーリングイベント3開催：参加者730名（前年1,277名）。交通安全パレード8開催：参加者1,065名（前年1,110名）。その他イベント2開催：参加者34,108名（前年28,508名）。



中部 スマイルツーリングin加賀温泉



バイクのふるさと浜松2015



バイクの日 スマイル・オン2015in秋葉原
交通安全パレード



バイク月間2015スペシャルサイトを開設し、全国各地で開催される4銘柄・関連団体及び当協会のイベント情報を掲載するとともに、一般紙、専門誌、Webサイトなどにバイク情報が掲載されるよう、業界・メディアと連携した展開を進め、バイク月間の社会的認知向上に向け活動しました。

2007年より実施している「8月19日バイクの日新聞企画」は昨年までは、「バイクの楽しさ・安全運転啓蒙」をテーマに、タレント・著名人のインタビュー記事を掲載してきましたが、2015年は、「バイクを取り巻く状況」を広く世間一般に伝えることを主眼に、新聞各紙にテーマを設定し、バイクを取り巻く状況の現状を告知いたしました。

また、本年度はバイク月間2015スペシャルサイト上に掲載することで、誰でも閲覧することが出来るようになりました。



●モーターサイクルショー

大阪モーターサイクルショーを開催するとともに東京モーターサイクルショーへの協力を行い、関連団体ブースに出展し各事業活動の訴求活動を行いました。両ショーとも過去最高の来場者を更新しました。

★第31回 大阪モーターサイクルショー

平成27年3月20日～3月22日 インテックス大阪 日本二普協近畿ブロック主催
出展者 140社 展示車両 309台 総来場者数 57,754名 (前年比 105%)

★第42回 東京モーターサイクルショー

平成27年3月27日～3月29日 東京ビッグサイト 東京モーターサイクルショー協会主催
出展者 121社 展示車両 573台 総来場者数 132,249名 (前年比 116%)



第32回 大阪モーターサイクルショー
平成28年3月19日～21日 インテックス大阪

男の子も、女の子も。ビギナーも、ベテランも。関西最大級のバイクイベント!

32 大阪モーターサイクルショー2016
3.19(土)・20(日)・21(月・祝)

第43回 東京モーターサイクルショー
平成28年3月25日～27日 東京ビッグサイト

THE43rd TOKYO MOTORCYCLE SHOW 2016

●モーターサイクルスポーツ

2015年は、全日本選手権ロードレース全9戦、モトクロス全10戦、トライアル全7戦、スーパーモト全8戦、エンデューロ全4戦、スノーモービル全5戦、そのほか主要競技会、地方選手権が各地で開催されました。

シーズンの締めくくりとなる2015年度MFJランキング認定表彰式では、MFJの表彰式史上、最多のライダーが表彰を受けました。



2016MFJ全日本選手権主要競技会カレンダー



2016年全日本選手権シリーズおよび主要競技会の開催日程が決定しています。

レースは、ライダーとして出場（走行）したり、ピットクルー（チームのサポートメンバー）になることができますが、好きなチームやライダーを見つけて応援、観戦するだけでも十分楽しむことができます。

映像では得られない感動を、会場に行き行ってLIVEで味わってください。日本人ライダーを応援しましょう。

MFJ ROAD RACE

全日本ロードレース選手権シリーズ

開催日	会場	開催クラス
第1戦 4月9日(土)～4月10日(日)	筑波サーキット(茨城)	J-GP2(2レース),ST600,J-GP3
第2戦 2&4 4月23日(土)～4月24日(日)	鈴鹿サーキット(三重)	JSB1000のみ(200km耐久)
第3戦 5月28日(土)～5月29日(日)	ツインリンクもてぎ(栃木)	全クラス
第4戦 6月11日(土)～6月12日(日)	オートポリス(大分)	全クラス
第5戦 6月25日(土)～6月26日(日)	スポーツランド SUGO(宮城)	全クラス(JSB1000は120mile耐久)
第6戦 2&4 8月20日(土)～8月21日(日)	ツインリンクもてぎ(栃木)	J-GP2のみ
第7戦 2&4 9月10日(土)～9月11日(日)	オートポリス(大分)	JSB1000のみ
第8戦 9月24日(土)～9月25日(日)	岡山国際サーキット(岡山)	全クラス
第9戦 MFJGP 11月5日(土)～11月6日(日)	鈴鹿サーキット(三重)	全クラス(JSB1000は2レース)

※全クラス=JSB1000, J-GP2, ST600, J-GP3

MFJ CUP JP250 (インターナショナル)

開催日	大会名	会場
第1戦 4月9日(土)	全日本選手権 第1戦 併催	筑波サーキット(茨城)
第2戦 6月11日(土)	全日本選手権 第4戦 併催	オートポリス(大分)
第3戦 6月25日(土)	全日本選手権 第5戦 併催	スポーツランド SUGO(宮城)
第4戦 2&4 8月20日(土)	全日本選手権 第6戦 併催	ツインリンクもてぎ(栃木)
第5戦 9月24日(土)	全日本選手権 第8戦 併催	岡山国際サーキット(岡山)
第6戦 MFJGP 11月5日(土)	全日本選手権 第9戦 併催	鈴鹿サーキット(三重)

ロードレース主要競技会

開催日	大会名	会場
月3日(金)～5日(日)	FIM アジアロードレース選手権シリーズ	鈴鹿サーキット
月29日(金)～31日(日)	FIM 世界耐久選手権シリーズ "コカ・コーラゼロ" 鈴鹿8時間耐久ロードレース	鈴鹿サーキット
月15日(金)～16日(日)	FIM MotoGP 世界選手権シリーズ 日本グランプリ	ツインリンクもてぎ

MFJ ENDURO

全日本エンデューロ選手権シリーズ

開催日	会場
第1戦 5月8日(日) Rd①	テージャスランチ(広島) 広島大会
第2戦 6月19日(日) Rd②	ブラザ飯下(大阪) 近畿大会
第3戦 9月17日(土)～18日(日) Rd③④	北海道日高町 日高2DAYS エンデューロ
第4戦 11月19日(土)～20日(日) Rd⑤⑥	スポーツランド SUGO(宮城) SUGO2DAYS エンデューロ

エンデューロ特別競技会

開催日	大会名	会場
11月12日(土)～13日(日)	WERIDE 三宅島エンデューロレース	三宅島特設コース(東京)

MFJ SUPERMOTO

全日本スーパーモト選手権シリーズ

開催日	会場
第1戦 4月24日(日)	美浜サーキット(愛知)
第2戦 5月22日(日)	HSR九州(熊本)
第3戦 6月19日(日)	エビスサーキット(福島)
第4戦 7月17日(日)	琵琶湖スポーツランド(滋賀)
第5戦 8月7日(日)	TSタカタサーキット(広島)
第6戦 8月28日(日)	スポーツランド SUGO(宮城)
第7戦 9月18日(日)	桶川スポーツランド(埼玉)
第8戦 10月16日(日)	名阪スポーツランド(奈良)
第9戦 11月13日(日)	茂原ツインサーキット(千葉)

(※S1 PROクラスは、各大会決勝2レース開催)

MFJ MOTOCROSS

全日本モトクロス選手権シリーズ

開催日	会場
第1戦 九州大会 4月2日(土)～4月3日(日)	HSR九州(熊本)
第2戦 関東大会 4月16日(土)～4月17日(日)	オフロードヴィレッジ(埼玉)
第3戦 中国大会 5月14日(土)～5月15日(日)	世羅グリーンパーク弘楽園(広島)
第4戦 SUGO大会 6月4日(土)～6月5日(日)	スポーツランド SUGO(宮城)
第5戦 神戸大会 7月2日(土)～7月3日(日)	神戸空港島特設コース(兵庫)
第6戦 東北大会 7月23日(土)～7月24日(日)	藤沢スポーツランド(岩手)
第7戦 近畿大会 9月10日(土)～9月11日(日)	名阪スポーツランド(奈良)
第8戦 関東大会 10月1日(土)～10月2日(日)	オフロードヴィレッジ(埼玉)
第9戦 MFJGP 10月22日(土)～10月23日(日)	スポーツランド SUGO(宮城)

モトクロス主要競技会

開催日	大会名	会場
3月6日(日)	オールスターモトクロス in OKINAWA	Ima NAGO Cross Field(沖縄)
8月26日(日)	MFJモトクロス全国大会	世羅グリーンパーク弘楽園(広島)

MFJ TRIAL

全日本トライアル選手権シリーズ

開催日	会場
第1戦 関東大会 3月13日(日)	真壁トライアルランド(茨城)
第2戦 近畿大会 4月17日(日)	名阪スポーツランド(奈良)
第3戦 九州大会 5月15日(日)	矢谷深谷トライアル場(熊本)
第4戦 中国大会 6月12日(日)	HIROトライアルパーク(鳥取)
第5戦 北海道大会 7月17日(日)	わっさむサーキット(北海道)
第6戦 中部大会 10月9日(日)	キョウセイドライバード(愛知)
第7戦 東北大会 10月30日(日)	スポーツランド SUGO(宮城)

トライアル主要競技会

開催日	大会名	会場
4月23日(土)～24日(日)	FIMトライアル世界選手権シリーズ日本グランプリ	ツインリンクもてぎ(栃木)
11月13日(日)	MFJトライアルグランチャンピオン大会	湯浅トライアルパーク(和歌山)

MFJ SNOWMOBILE

全日本スノーモビル選手権シリーズ

開催日	会場
第1戦 新潟大会 1月23日(土)～24日(日)	なかさと清津スキー場(新潟)
第2戦 長野大会 1月30日(土)～31日(日)	スノーモビルランドイン斑尾(長野)
第3戦 真狩大会 2月6日(土)～7日(日)	真狩村特設会場(北海道真狩)
第4戦 土別大会 2月13日(土)～14日(日)	土別市特設コース(北海道土別)
第5戦 美瑛大会 2月27日(土)～28日(日)	ウイズユー四季彩の丘特設コース(北海道美瑛)

都府県地区支所会長・事務局長会議を開催

去る平成27年12月2日（水）アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区九段北4-2-25）にて都府県地区支所会長・事務局長会議を開催しました。

会議では「平成28年度業務推進計画及び当面の業務運営」について説明を行い、「平成27年度活動推進状況及び平成28年度活動計画」について担当部門ごとに説明を行いました。



引き続き各種活動の積極的展開を

会長 伊東 孝紳



都府県地区支所会長・事務局長会議の開催に当たり、一言ご挨拶をいたします。

皆さんには、それぞれの都府県地区において、二輪車ユーザーの安全、防犯の確保、流通環境の整備等に日々、励まれ、所期の成果を収めていただいていることに、まずもって感謝申し上げます。

また、組織統合して、早や2年余が経過いたしました。皆さんのご尽力によりまして組織運営、業務推進の滞りもなく、概ね順調に推進することができており、改めてお礼を申し上げます。

さて、本年度は、中期業務計画の初年度であります。業務ごとに掲げられた3か年度の実施目標を着実に達成していくためには、初年度において、計画した重点活動についての実施施策を的確に実施し、その成果を検証し、次年度以降の計画に反映させることが極めて重要であります。

そこで本日の会議では、本年度のこれまでの活動の推進状況を振り返りつつ、目標の達成に向けた今後の実施計画と平成28年度業務推進計画について説明することにしております。

二輪車を取り巻く諸情勢が大変厳しい中、皆さんには、日々、何かとご苦労も多いことかと思いますが、二輪車ユーザーの利用の輪が広がり、より安全で快適なバイクライフを享受していただけるよう、関係機関団体と緊密な連携の下に、引き続き各種活動を積極的に展開していただきますようお願いいたします。

終わりにになりましたが、本日御出席の皆様の一層のご活躍を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

総合的な交通事故抑止対策を推進



警察庁 交通局 運転免許課長 郷治 知道

警視庁運転免許課長の郷治でございます。

会議の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方には、平素から警察行政の各般にわたり、深いご理解とご支援をいただき、また、二輪車の交通安全と防犯対策につきまして一方ならぬご尽力を賜っていることに対し、この場をお借りしまして、改めて御礼を申し上げます。

また、ただいま、二輪車の交通安全普及活動とグッドライダー防犯登録制度の普及促進に多大な貢献をされましたご功績により代表で受賞されました方々をはじめ、今回受賞されました各県の二輪車普及安全協会員の皆様、心からお祝いを申し上げます。

さて、ご案内のとおり、今年の交通事故につきましては、死者数が4,113人と14年連続の減少となり、交通事故発生件数及び負傷者も10年連続で減少しております。

しかしながら、近年、交通事故死者数の減少幅は縮小傾向にあるとともに、本年10月末現在における交通事故死者数が3,296人と前年同期比で同数となるなど、一層の交通事故防止対策の推進が必要と考えているところであります。

一方、自動二輪車の交通事故の状況を見ますと、死者数が10月末現在で383人と前年同期比で8人の増加となっており、このうち、50歳台の年齢層による自動二輪乗車中の死者数につきましては68人と前年同月比で11人増加しております。

さらに、原付の交通事故について申し上げますと、死者数は年々減少しているものの、死者数に占める高齢運転者の割合は上昇傾向にあり、本年10月末現在における65歳以上の死者数は95人と、半数以上を占めております。

このような状況を踏まえ、警察といたしましては、地域の交通事故実態を踏まえ、効果的な高齢者対策や交通事故抑止に資する交通指導取締りなど、総合的な交通事故抑止対策を推進しているところであります。

申すまでもなく、交通安全活動は、警察と関係機関・団体が緊密な連携をし、適正かつ積極的に行われ、総合的に推進されてこそ、目的が達成されるものであります。

皆様方におかれましては、「グッドライダーミーティング」をはじめとする各種体験型実技講習会の開催や、事故発生割合の高い年齢層に焦点を当てた安全運転講習会の開催など、二輪車の安全運転普及活動の全国的な展開につきまして、今後ともご尽力いただきたいと思います。

おわりになりますが、協会の益々のご発展と、ご参会の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。

●日本二普協 平成28年度 業務推進計画

第1 二輪車安全運転普及活動の推進

- 1 店頭個別安全指導活動の推進
- 2 各種安全運転講習会の開催
- 3 免許取得支援活動の推進
- 4 二輪車安全運転推進運動の実施
- 5 関係機関・団体との連携活動の推進
- 6 ポスター、チラシ等の作成、配布

第2 二輪車防犯活動の推進

- 1 G防登録の推進
- 2 二輪車盗難照会システムの利用促進

第3 二輪車の利用環境の改善

- 1 二輪車の駐車場改善の促進とユーザーの駐車場利用啓発
- 2 二輪車通行規制区間に対する要望収集と警察への情報提供

3 BIKE LOVE FORUM (BLF) への参画

- 4 グッドライダー喚起・育成
- 5 二輪車の利用環境改善のために必要な情報収集

第4 二輪車の流通環境の整備推進

- 1 公正な二輪車取引の推進
- 2 二輪品質評価者（品質査定士）制度の普及
- 3 自動車関係功労者大臣表彰

第5 二輪車の楽しさを訴求する各種イベントの開催等

- 1 バイク月間
- 2 モーターサイクルショー

第6 モーターサイクルスポーツの普及促進

- 第7 広報活動の推進

平成27年度 日本二普協会会長表彰

優良地域団体39団体 優良販売店137店 を表彰

平成 27 年 12 月 2 日（水）に開催した都府県地区支所会長・事務局長会議の席上「平成 27 年度 日本二普協会会長表彰」の表彰式を行いました。本年度の優良地域団体 39 団体、グッドライダー・防犯登録制度推進 優良販売店 137 店が表彰となりました。代表として 3 名の方に、伊東会長より表彰状を授与されました。

【優良地域団体代表 1 団体】

小平二輪車安全普及協会 会長 鈴木 昇 様

【グッドライダー・防犯登録制度推進 優良販売店代表 2 店】

スズキワールド船橋 中村 太一 様

ホンダドリーム船橋 赤坂 正人 様



代表の 3 名



小平二輪車安全普及協会会長 鈴木 昇様



スズキワールド船橋 中村太一様



ホンダドリーム船橋 赤坂正人様

会議終了後、意見交換会が行われました。
意見交換会にて来賓を代表してご挨拶いただきました。

日本を世界一安全な国とするため全力で邁進

警察庁 生活安全局 生活安全企画課長 田中 勝也



警察庁生活安全企画課長の田中でございます。

この度は、日本二輪車普及安全協会様の意見交換会にお招きいただきまして誠にありがとうございます。

平素、皆様方には、グッドライダー・防犯登録制度の普及を始め、盗品売買等防止団体としての照会・回答業務など、警察行政各般にわたり御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、最近の治安情勢について申し上げますと、昨年は刑法犯認知件数が121万件余となり、戦後最も少なかった昭和48年の119万件に迫る水準まで減少し、総量としての治安水準はかなり改善しました。

また、窃盗犯の認知件数についても、大幅に減少し、昨年は戦後最少となったところでありますが、依然として、全刑法犯に占める窃盗犯の割合は高く、昨年は、全体の約74%を占めております。

そして、これら窃盗の被害品等が皆様方を始めとする古物商の方々に持ち込まれるという事例が、今なお見受けられるところであります。

そのような中、昨年は、古物商の方々から約600件近く(567件)もの不正品に関する申告をいただき、盗品の流通防止はもとより、犯人の検挙や被害品の回復につながっております。

特に、自動二輪車と原動機付自転車に関する不正品申告につきましては、皆様方の御協力により、343件と、申告数全体の約61%を占めるに至っており、その地道な取組に対しまして深く敬意を表する次第であります。

このように、皆様方を始め、関係機関・団体の方々との連携の下、官民一体となった活動を継続的に推進してきた結果、冒頭申しましたように、治安水準はかなり改善してきたものでありますが、近年の治安情勢の特徴としまして、サイバー犯罪や特殊詐欺のほか、ストーカー・DV、児童虐待といった人の生命・身体の安全に関わる犯罪が増加しており、また、家庭、近隣、地域等に内在していたトラブル解決能力の劣化という社会構造の変化を背景とした相談の増加も見られております。

警察におきましては、安全・安心な暮らしを願う国民の期待に応えるためには、こういった課題を克服し、治安水準を一層高いレベルに引き上げる必要があると考えております。

そのため、今後とも地域住民や皆様方を始めとする事業者の方々、関係機関・団体等との連携を密にしながら、社会全体の防衛力の強化、犯罪インフラの無力化等を推進していくとともに、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を見据えて、日本を世界一安全な国とするため全力で取り組んでまいり所存であります。

皆様方におかれましても、引き続き、各種犯罪対策への御理解、御協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

結びに、日本二輪車普及安全協会様の益々の御発展と、本日御参会の皆様方の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

人事異動のお知らせ

平成28年1月14日付で

田中勝也氏は内閣官房へ異動され
高須一弘氏がご就任されました。

平成27年 優良地域団体

計39団体（順不同・敬称略）

都府県地区名	優良地域団体	代表者氏名
青 森	青森地区二輪車普及安全協会	中 村 卓 三
岩 手	岩手県二輪車安全普及協会 ブロック会	田 中 清 也
宮 城	宮城県二輪車普及安全協会 中央北ブロック会	齋 藤 實
山 形	長井二輪車普及安全協会	佐 藤 邦 昭
福 島	福島県二輪車普及安全協会 郡山支部	矢 吹 正
東 京	小平二輪車安全普及協会	鈴 木 昇
	立川・国立二輪車安全普及協会	金 子 武 人
	本田二輪車普及安全協会	浜 岡 賢 二
茨 城	茨城県二輪車普及安全協会 境支部	木 村 茂
栃 木	宇都宮東 二輪車安全普及協会	岡 康 夫
埼 玉	越谷地区二輪車安全普及協会	浅 見 富司雄
	狭山入間地区二輪車安全普及協会	清 水 一 喜
神 奈 川	横須賀二輪車安全普及協会	森 雄 一
	小田原二輪車安全普及協会	木 村 健 二
静 岡	静岡県浜松地区二輪車普及安全協会	杉 本 達 雄
愛 知	愛知県二輪車普及安全協会 瀬戸支部	伊 藤 達 也
三 重	三重県二輪車安全普及協会 桑名支部	岡 田 文 明
大 阪	松原 地域二輪車安全普及協会	新 田 房 義
	摂津・吹田 地域二輪車安全普及協会	土 井 正 道
	枚方・交野 地域二輪車安全普及協会	宮 本 誠 也
奈 良	奈良県二輪車安全普及協会 宇陀支部	藤 井 茂 彦
和 歌 山	有田 地域二輪車安全普及協会	平 野 明 洋
鳥 取	鳥取県中部二輪車安全普及協会	森 谷 明 夫
島 根	浜田二輪車普及安全協会	濱 田 和 哉
岡 山	真庭二輪車安全普及協会	大 倉 茂 利
広 島	広島中央地区二輪車安全普及協議会	山 本 昌 彦
	広島南地区二輪車安全普及協議会	重 光 述 宏
山 口	萩・阿北ブロック	山 崎 光 一
徳 島	徳島東支部	國 見 力
愛 媛	大洲支部	二 宮 豊 和
高 知	高知南支部	裏 正 一
福 岡	行橋地区二輪車普及安全協会	川 津 幸 則
長 崎	大村地区二輪車普及安全協会	堀 内 規 好
熊 本	荒尾地区二輪車普及安全協会	角 恵 介
大 分	別府地区二輪車普及安全協会	牧 保
宮 崎	延岡地区二輪車普及安全協会	虎 取 好 明
鹿 児 島	いちき串木野地区二輪車安全普及協会	船 蔵 和 美
	出水地区二輪車普及安全協会	坂ノ下 保
沖 縄	沖縄支部	喜 納 兼一郎

平成27年 グッドライダー・防犯登録制度推進優良販売店

計137店（順不同・敬称略）

都府県地区名	店名	代表者氏名
旭川	株式会社オートジョインブル	八倉巻 淳
	株式会社土井二輪商会	土井 昭光
青森	YSP八戸	三浦 健至
	YSP青森	成田 郁久
	有限会社ブルーフォレスト	中村 卓三
岩手	有坂輪業	有坂 祐輔
	有限会社サイクルショップタニフジ	谷 藤 光 一
	セヨシサイクル	瀬川 實
宮城	株式会社早坂サイクル商会	早坂 忠
	株式会社ティーズセンター店	高橋 新一郎
	ホンダドリーム仙台泉	鶴川 弘
秋田	power'sサトウ	佐藤 俊二
	カワサキショップ グッドラック	芳賀 常幸
山形	ホンダドリーム山形	瀧口 宏
	YSP酒田	五十嵐 博
	ホンダウイングサイトー	齋藤 秀治
福島	有限会社菊田モーターズ	菊田 洋一
	有限会社モーターハウス	菅野 芳郎
	SBS郡山	石森 吉治
東京	ホンダドリーム新宿	桜井 俊克
	株式会社ワースワイル ハックルベリー店	岡本 章弘
	奈良ホンダ	奈良 長壽
茨城	有限会社木村輪業	木村 茂
	株式会社ウエストウッド井原商会	井原 啓之
	株式会社コルベン	宮内 英夫
栃木	ホンダドリーム宇都宮	岡 康夫
	バイカーズステーションノックス 足利店	長谷川 領作
	スズキワールド宇都宮	西澤 秀也
群馬	バイカーズステーションノックス 大泉店	長谷川 領作
	バイカーズステーションノックス 藤岡店	長谷川 領作
	ホンダドリーム中央前橋	五十嵐 孝光
埼玉	株式会社弁慶	林 青雲
	株式会社はとや 草加店	石鍋 卓
	有限会社ピットイン今村	今村 清孝

都府県地区名	店名	代表者氏名
千葉	有限会社 袖ヶ浦ホンダ 五井店	小林 宏子
	スズキワールド船橋	中村 太一
	ホンダドリーム船橋	赤坂 正人
神奈川	YOKOHAMAセラビィ	小川 司
	丸富オート販売株式会社 国産車センター店	長田 憲治
	有限会社山上輪業	山上 良
新潟	有限会社SBS青山	古俣 章
	株式会社ブライトン	河内 武志
	桜井輪店 本店	桜井 春雄
山梨	小野モーターズ商会	中村 貢
	ホンダショップタイヨウ	田中 貴
	佐藤輪店	佐藤 秋夫
長野	ホンダドリーム長野	小林 邦博
	YSP長野中央	西澤 静子
	トネガワオート株式会社	舎川 淳一
静岡	YSP浜松	和田 茂
	モトフィールドドッカーズ 静岡清水店	岡本 章弘
	YSP静岡北	青野 康夫
富山	YSP富山中央	酒井 宗一
	YSP富山東	叶井 廉
	モトショップエムズ	松野 暁人
石川	MOTOR HOUSE BIKE ON金沢田上店	片岡 匡史
	有限会社城北カワサキ	山本 正
	松田モーターズ株式会社	松田 弘
福井	株式会社バイクガレージ福井	出口 幸宏
	有限会社バイクハウス 赤い3輪車	小林 幸広
	株式会社ホンダ販売敦賀	中河 義隆
岐阜	YSP各務原東	堀尾 明宣
	竹村輪業	竹村 千奈美
	モーターサイクルハウス	鈴木 純夫
愛知	株式会社イトーKT	伊藤 達也
	オートセンターヤマダ株式会社	山田 春昭
	モトフィールドドッカーズ 名古屋店	岡本 章弘

都府県地区名	店名	代表者氏名
三重	ホンダドリーム鈴鹿	稲葉茂樹
	TSR白子	濱端浩司
	サンビシモータース株式会社	岡田文明
滋賀	株式会社YSP滋賀	糟貝吉治
	BIKE SHOP 遊星	井上貴善
	有限会社若林自転車商会	中川達也
京都	株式会社レオタニモト	谷本将崇
	オートショップ スーパーノバ	中小路忠也
	有限会社YSP長岡	森正己
大阪	有限会社モーターサイクルパル 吹田	大野圭央
	バイクショップ コタニ	小谷清
	株式会社 ハイブリッド	永福雅樹
兵庫	株式会社 エナジーモータースタイル	大久保彰
	バイクショップロミオ 宝塚店	末金成俊
	SBS準 兵庫東	下仲由紘
奈良	株式会社ホンダドリーム近畿 ホンダドリーム奈良	三好優
	YOU SHOP キャブレター	松井幸三
	YMC株式会社 柳谷モーターサイクル	柳谷秀隆
和歌山	マツカワ輪業	松川剛士
	福田モータース	工藤剛一
	HONDAWING BHB広畑	広畑佳伸
鳥取	有限会社ライダーズスポットムラタ	村田守孝
	西部ホンダ販売有限会社	竹山宗泰
島根	ホンダドリーム島根	斉藤勅
	株式会社サイクルセンターまつしま	松島健治
	オートサイクル小川	小川美清
岡山	株式会社鶴海モーター	鶴海健治
	近藤商会	近藤米男
	有限会社ツーアンドフォー	増田千明
広島	株式会社ビッグバイク	檜脇稔
	株式会社バイクステーション尾道	木曾一
	ナカシマオートサイクル	中島敏博
山口	橋本モータース	橋本勝成
	末広自転車店	末廣栄治
	有限会社SBS宇部	山根一郎

都府県地区名	店名	代表者氏名
徳島	有限会社インディーズ	山口裕治
	有限会社山橋商会	山橋諄亮
	株式会社藤岡輪業商会	藤岡雅彦
香川	ホンダドリーム高松	平田信二
	株式会社BSP高松	相川捷夫
	株式会社バイクプラザ丸亀	高木健司
愛媛	有限会社タクボ	田窪竜太
	ライダーズクラブ はなやま	花山志郎
	谷口商会	谷口幸和
高知	ホンダドリーム高知西	泉谷容子
	ガレージ タニグチ	谷口圭
	モペットハウス ヤスダ	保田孝司
福岡	モトフィールドドッカーズ福岡	岡本章弘
	YSP大濠	門松秀明
	モトランド	伴トシ子
佐賀	YSP佐賀	門松秀明
	SBS SAGA	村岡賢繁
長崎	HONDA DREAM 長崎	村上順三
	有限会社 昭和ホンダ商会	篠田公敏
	堀内モータース	堀内規好
熊本	有限会社アール	山野和明
	YSP菊陽	門松秀明
	有限会社オートショップドリーム	井由美子
大分	YSP大分	河野成久
	有限会社西日本オート	楠瀬正治
	Oidear	松田善樹
宮崎	ホンダドリーム宮崎	黒岩孝志
	バイクショップ ABCホンダ	村田優一
	YSP宮崎 有限会社斉藤輪業	斉藤勝秀
鹿児島	ホンダドリーム鹿児島	小平田喜代子
	バイクショップ福盛	福盛政春
	オリタオートサービス	折田敏和
沖縄	有限会社 サキハマ	崎濱毅史
	金城オート	金城清正
	ウイングサロン翁長	翁長安芳

警察庁交通局長からの挨拶状

年頭にあたり、警察庁交通局長 鈴木基久様より、当協会の交通安全活動に対する御礼のご挨拶をいただきました。

(一社)日本二輪車普及安全協会
会長 伊東 孝紳 殿

謹啓 初春の候、貴台にはますます御清栄のこととお慶び申し上げます。
貴協会におかれましては、平素から警察行政各般にわたりまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、平成27年中の交通事故情勢につきましては、発生件数及び負傷者数は11年連続の減少となりましたが、死者数は15年ぶりの増加となりました。

政府が定めた第9次交通安全基本計画において掲げた「平成27年までに24時間死者数を3,000人以下」とするという目標についても、これまで達成に向け努力してまいりましたが、残念ながら実現できませんでした。

近年は、交通事故における致死率の高い高齢者の人口の増加が、交通事故死者数を押し上げる要因の一つとなっており、交通事故死者数の半数以上を65歳以上の高齢者が占めているほか、飲酒運転等の悪質・危険な運転を原因とする悲惨な交通事故も依然として後を絶たない状況にあります。

警察としては、交通事故死者数が増加に転じたことを厳しく受け止め、高齢者や歩行者の安全確保を図るための交通安全教育や街頭活動、悪質・危険な違反の取締り、計画的な交通安全施設等の整備等の総合的な交通事故防止対策を一層強力に推進し、交通事故による犠牲者の更なる減少を目指して取り組んでいくこととしております。

本年は、第10次交通安全基本計画がスタートする年であり、政府が目標とする「世界一安全な道路交通の実現」に向け、官民を挙げたなお一層の取組が求められております。

貴協会におかれましては、引き続き、安全で快適な交通社会の実現に向けご尽力いただきますとともに、交通警察行政への変わらぬ御支援、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴協会のますますの御発展を祈念申し上げます。

謹言

平成28年1月4日

警察庁交通局長
鈴木 基 久



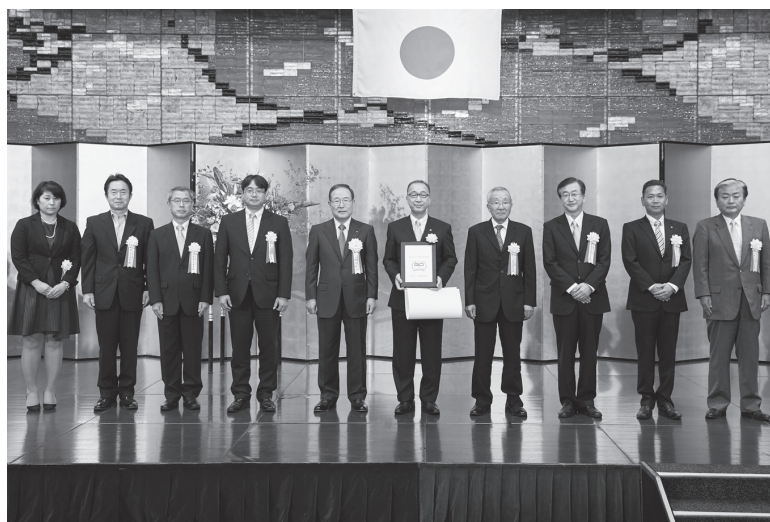
第1回グリーンプリンティング環境大賞 準大賞を受賞しました。

当協会は9月2日、一般社団法人日本印刷産業連合会(以下、日印産連)より「第1回 GP 環境大賞 準大賞」を受賞しました。

日印産連が独自に定めた環境基準である「印刷サービスグリーン基準」に適合した「グリーンプリンティング認定制度(GP 認定制度)」を取得した印刷物を積極的に取り入れたことが評価され、今回の受賞となりました。9月16日に表彰式が行われ「第1回 GP 環境大賞 準大賞」をいただきました。



表彰を受ける当協会佐藤専務



受賞者での記念撮影

<グリーンプリンティング認定制度について>

平成18年に印刷産業の環境負荷削減をめざして創設。環境省策定・発行の「グリーン購入の調達者の手引」、「プレミアム基準策定ガイドライン」、「環境表示ガイドライン」において本制度の活用が取り上げられています。また、社会的信頼を得られた業界初の認定制度として業界内はもちろん、業界外からも広く注目を集めています。

<GPマークについて>

GPマークはGP認定工場が製造し、紙、インキ等印刷資材がグリーン基準を満たした印刷製品に表示できるマークです。環境配慮のレベルによりワンスターからスリースターまでの3段階があります。GPマークは、より高度な環境ラベルとして、官公庁の発行物、CSRレポートから一般のパンフレットなどさまざまな印刷製品に利用されています。



編 集 後 記

今回の日本二普協ニュースはいかがでしたでしょうか。この116号よりプチリニューアルして制作しました。今後はもっと皆さんにとって知って得になる情報を少しでもお届けできるように、進化していければと考えております。ご意見、ご感想をいただければ幸いです。

< info@jmpsa.or.jp あてにぜひメールをお送りください。 >

さて、日本二普協では「平成27年度日本二普協会長表彰」を実施しました。受賞されました販売店の皆様におかれましては、今後更にグッドライダー・防犯登録制度が社会に認知、普及するための模範となっていただきますよう、引き続きよろしくお願いたします。

また、国土交通省、地方運輸局に対して、自動車関連事業の販売、整備、運輸の各分野において多年精励され、功績顕著である方が表彰される「平成27年度自動車関係功労者大臣表彰」には、残念ながら当協会の推薦から大臣表彰の受賞はありませんでしたが、運輸局長表彰、運輸支局長表彰は受賞することが出来ました。この受賞を励みにしていただき、一層の模範として業界発展のため引き続きご支援、ご協力いただきますようお願いいたします。

日本二普協は、昨年印刷業界が進めている環境基準を積極的に取り入れたことが評価され、「第1回GP環境大賞 準大賞」を受賞しました。通常の事業活動では表彰する側、表彰者を推薦する側なのですが、受賞する側になり大変嬉しいと同時に、環境に対する様々な取組みも積極的に行なっていかなければならないと改めて認識した次第です。

本年も日本二普協は、各事業活動を継続推進しながら、二輪車に関わる多種多様なバイクライフサイクルに対応しスパイラルアップして参ります。二輪車ユーザーがより安全で快適なバイクライフを過ごせる社会を目指し取組んで参りますので、引き続き皆様のご支援ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いたします。

(一社) 日本二輪車普及安全協会
会 長 伊東 孝紳
専務理事 佐藤 忍
常務理事 太田 昭雄
職員一同

編集・発行

〒170-0005
東京都豊島区南大塚2-25-15 South 新大塚ビル7F
TEL : 03-6902-8190 FAX : 03-6902-8195
ホームページ : <http://www.jmpsa.or.jp>

一般社団法人 日本二輪車普及安全協会

統計1 都道府県別二輪車乗車中交通事故死者数(平成27年11月末)

11月末の交通事故死者数は前年同期比33人減

平成27年11月末/警察庁DATA

	自二車乗車中死者数			原付車乗車中死者数			二輪車乗車中死者数			全死者数			
	27年 11月末	増減数	26年 11月末	27年 11月末	増減数	26年 11月末	27年 11月末	増減数	26年 11月末	27年 11月末	増減数	26年 11月末	
北海道	9	-9	18	2	2	0	11	-7	18	168	8	160	
東	青森	3	2	1	1	0	4	3	1	36	-11	47	
	岩手	5	3	2	1	1	0	6	4	2	72	14	58
	宮城	6	4	2	1	-2	3	7	2	5	54	-15	69
	秋田	3	1	2	3	2	1	6	3	3	29	-5	34
	山形	4	3	1	0	-2	2	4	1	3	51	13	38
北	福島	7	1	6	2	0	2	9	1	8	69	-14	83
計	28	14	14	8	0	8	36	14	22	311	-18	329	
東京	29	-9	38	6	2	4	35	-7	42	148	1	147	
関	茨城	9	1	8	7	-4	11	16	-3	19	130	6	124
	栃木	5	-8	13	4	-1	5	9	-9	18	89	-7	96
	群馬	6	1	5	1	-2	3	7	-1	8	61	2	59
	埼玉	25	1	24	9	-3	12	34	-2	36	155	4	151
	千葉	20	5	15	3	-9	12	23	-4	27	154	5	149
	神奈川	28	-19	47	13	2	11	41	-17	58	153	-12	165
	新潟	5	-2	7	5	-4	9	10	-6	16	89	-4	93
	山梨	6	-3	9	4	1	3	10	-2	12	30	-14	44
	長野	7	2	5	2	-1	3	9	1	8	62	-15	77
	静岡	19	5	14	16	4	12	35	9	26	135	7	128
計	130	-17	147	64	-17	81	194	-34	228	1,058	-28	1,086	
中	富山	3	-1	4	5	4	1	8	3	5	64	23	41
	石川	2	2	0	2	1	1	4	3	1	45	-7	52
	福井	4	-1	5	1	-1	2	5	-2	7	40	-6	46
	岐阜	9	3	6	4	-2	6	13	1	12	91	10	81
	愛知	21	3	18	11	-1	12	32	2	30	192	14	178
	三重	5	-7	12	6	-1	7	11	-8	19	74	-24	98
計	44	-1	45	29	0	29	73	-1	74	506	10	496	
近	滋賀	10	6	4	3	0	3	13	6	7	64	8	56
	京都	14	3	11	7	3	4	21	6	15	77	12	65
	大阪	36	17	19	9	2	7	45	19	26	173	47	126
	兵庫	20	-5	25	10	-10	20	30	-15	45	149	-14	163
	奈良	4	-3	7	4	0	4	8	-3	11	44	2	42
	和歌山	4	1	3	7	2	5	11	3	8	42	6	36
計	88	19	69	40	-3	43	128	16	112	549	61	488	
中	鳥取	0	-1	1	0	0	0	0	-1	1	29	-1	30
	島根	1	-1	2	1	0	1	2	-1	3	20	-2	22
	岡山	7	5	2	5	1	4	12	6	6	81	-2	83
	広島	10	1	9	6	-5	11	16	-4	20	89	-10	99
	山口	4	3	1	2	0	2	6	3	3	53	1	52
計	22	7	15	14	-4	18	36	3	33	272	-14	286	
四	徳島	4	3	1	1	1	0	5	4	1	25	-3	28
	香川	3	-1	4	1	0	1	4	-1	5	50	3	47
	愛媛	4	-2	6	6	-2	8	10	-4	14	74	6	68
	高知	1	0	1	3	1	2	4	1	3	28	-8	36
計	12	0	12	11	0	11	23	0	23	177	-2	179	
九	福岡	14	1	13	8	-3	11	22	-2	24	132	7	125
	佐賀	3	-4	7	0	-2	2	3	-6	9	42	-7	49
	長崎	6	2	4	1	-4	5	7	-2	9	42	-5	47
	熊本	2	0	2	2	-8	10	4	-8	12	71	2	69
	大分	5	-6	11	3	2	1	8	-4	12	42	-6	48
	宮崎	3	-1	4	6	4	2	9	3	6	47	3	44
	鹿児島	4	-2	6	6	1	5	10	-1	11	71	-16	87
沖縄	12	6	6	1	-3	4	13	3	10	39	6	33	
計	49	-4	53	27	-13	40	76	-17	93	486	-16	502	
合計	411	0	411	201	-33	234	612	-33	645	3,675	2	3,673	

統計3 二輪車盗難認知及び被害回復状況（平成27年12月末）

認知件数18.8%減、被害回復率42.4%

平成27年12月末/警察庁DATA														
都道府県	G防普及率 H27年12月	平成25年			平成26年			都道府県	平成26年 1月～12月			平成27年 1月～12月		
		盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率		盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率
北海道	5.1	355	204	57.5	253	138	54.5	北海道	253	138	54.5	166	90	54.2
青森県	11.6	22	10	45.5	8	5	62.5	青森県	8	5	62.5	35	24	68.6
岩手県	8.1	13	12	92.3	34	29	85.3	岩手県	34	29	85.3	17	11	64.7
宮城県	30.2	471	275	58.4	461	254	55.1	宮城県	461	254	55.1	289	125	43.3
秋田県	5.1	5	2	40.0	7	1	14.3	秋田県	7	1	14.3	2	2	100.0
山形県	8.4	26	5	19.2	33	9	27.3	山形県	33	9	27.3	14	10	71.4
福島県	6.8	121	75	62.0	105	53	50.5	福島県	105	53	50.5	85	56	65.9
東北計	14.3	658	379	57.6	648	351	54.2	東北計	648	351	54.2	442	228	51.6
東京都	22.0	3,926	1,444	36.8	3,045	1,203	39.5	東京都	3,045	1,203	39.5	3,207	1,058	33.0
茨城県	12.7	1,373	253	18.4	977	117	12.0	茨城県	977	117	12.0	739	72	9.7
栃木県	7.8	341	50	14.7	204	20	9.8	栃木県	204	20	9.8	141	23	16.3
群馬県	10.2	537	197	36.7	483	175	36.2	群馬県	483	175	36.2	299	141	47.2
埼玉県	25.0	3,014	680	22.6	2,829	444	15.7	埼玉県	2,829	444	15.7	2,685	500	18.6
千葉県	15.0	2,911	1,084	37.2	2,455	896	36.5	千葉県	2,455	896	36.5	2,149	794	36.9
神奈川県	19.1	4,934	2,568	52.0	4,271	2,179	51.0	神奈川県	4,271	2,179	51.0	3,885	1,907	49.1
新潟県	5.6	124	38	30.6	151	57	37.7	新潟県	151	57	37.7	110	36	32.7
山梨県	30.9	825	382	46.3	670	272	40.6	山梨県	670	272	40.6	742	328	44.2
長野県	10.8	205	117	57.1	106	63	59.4	長野県	106	63	59.4	63	21	33.3
関東計	18.3	18,190	6,813	37.5	15,191	5,426	35.7	関東計	15,191	5,426	35.7	14,020	4,880	34.8
静岡県	12.5	1,039	700	67.4	853	493	57.8	静岡県	853	493	57.8	856	452	52.8
富山県	8.3	58	35	60.3	39	20	51.3	富山県	39	20	51.3	51	19	37.3
石川県	7.5	69	41	59.4	59	22	37.3	石川県	59	22	37.3	80	37	46.3
福井県	12.2	101	42	41.6	49	32	65.3	福井県	49	32	65.3	45	26	57.8
岐阜県	6.8	610	391	64.1	414	262	63.3	岐阜県	414	262	63.3	297	179	60.3
愛知県	18.3	3,086	929	30.1	2,138	631	29.5	愛知県	2,138	631	29.5	1,525	396	26.0
三重県	16.6	888	387	43.6	662	265	40.0	三重県	662	265	40.0	450	208	46.2
中部計	14.3	5,851	2,525	43.2	4,214	1,725	40.9	中部計	4,214	1,725	40.9	3,304	1,317	39.9
滋賀県	32.6	680	245	36.0	491	182	37.1	滋賀県	491	182	37.1	412	122	29.6
京都府	30.1	2,104	1,042	49.5	1,935	988	51.1	京都府	1,935	988	51.1	1,395	649	46.5
大阪府	36.0	6,660	2,514	37.7	6,511	2,693	41.4	大阪府	6,511	2,693	41.4	5,310	2,200	41.4
兵庫県	22.0	4,362	1,939	44.5	3,479	1,483	42.6	兵庫県	3,479	1,483	42.6	2,911	931	32.0
奈良県	10.5	681	375	55.1	586	308	52.6	奈良県	586	308	52.6	337	180	53.4
和歌山県	19.3	360	170	47.2	291	139	47.8	和歌山県	291	139	47.8	153	78	51.0
近畿計	28.2	14,847	6,285	42.3	13,293	5,793	43.6	近畿計	13,293	5,793	43.6	10,518	4,160	39.6
鳥取県	18.3	43	23	53.5	33	23	69.7	鳥取県	33	23	69.7	38	17	44.7
島根県	32.6	16	13	81.3	16	15	93.8	島根県	16	15	93.8	16	11	68.8
岡山県	40.0	1,184	853	72.0	868	578	66.6	岡山県	868	578	66.6	522	313	60.0
広島県	62.5	795	540	67.9	714	478	66.9	広島県	714	478	66.9	475	361	76.0
山口県	31.6	159	61	38.4	142	69	48.6	山口県	142	69	48.6	84	43	51.2
中国計	48.3	2,197	1,490	67.8	1,773	1,163	65.6	中国計	1,773	1,163	65.6	1,135	745	65.6
徳島県	13.1	130	65	50.0	87	49	56.3	徳島県	87	49	56.3	60	24	40.0
香川県	11.1	372	191	51.3	253	130	51.4	香川県	253	130	51.4	146	95	65.1
愛媛県	47.1	957	349	36.5	474	235	49.6	愛媛県	474	235	49.6	327	126	38.5
高知県	23.0	224	137	61.2	146	83	56.8	高知県	146	83	56.8	119	70	58.8
四国計	28.8	1,683	742	44.1	960	497	51.8	四国計	960	497	51.8	652	315	48.3
福岡県	12.0	5,005	3,253	65.0	5,267	3,369	64.0	福岡県	5,267	3,369	64.0	3,346	2,295	68.6
佐賀県	2.3	257	195	75.9	202	151	74.8	佐賀県	202	151	74.8	147	85	57.8
長崎県	5.3	196	109	55.6	152	93	61.2	長崎県	152	93	61.2	97	72	74.2
熊本県	19.7	702	489	69.7	322	346	107.5	熊本県	322	346	107.5	264	199	75.4
大分県	11.8	325	178	54.8	266	166	62.4	大分県	266	166	62.4	140	104	74.3
宮崎県	11.3	147	67	45.6	140	98	70.0	宮崎県	140	98	70.0	151	109	72.2
鹿児島県	13.6	279	195	69.9	228	161	70.6	鹿児島県	228	161	70.6	206	140	68.0
沖縄県	15.2	896	315	35.2	811	239	29.5	沖縄県	811	239	29.5	897	301	33.6
九州計	12.4	7,807	4,801	61.5	7,388	4,623	62.6	九州計	7,388	4,623	62.6	5,248	3,305	63.0
全国計	21.2	51,588	23,239	45.0	43,720	19,716	45.1	全国計	43,720	19,716	45.1	35,485	15,040	42.4

(注) G・防普及率
12月末G防有効累計件数
H26年4月保有台数

<H25対H26比較>
① 盗難認知件数 **-7,868** **-15.3%**

・前年同期間比較 ①認知件数 **-8,235** **-18.8%**

認知増減数	9	回復率ダウン	24
認知減減数	37	回復率アップ	23
計	46	計	47